

参加無料

# Hiroshima 2018

## 小児がん AIフォーラム in 広島

(第11回 小児がん・脳腫瘍全国大会 2日目) 平成30年度 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業

2018年7月29日(日) 広島国際会議場 <http://www.pcf.city.hiroshima.jp/icch/>  
〒730-0811 広島県広島市中区中島町1-5

AI(人工知能)が私たちの生活にも身近な存在になってきました!

あと数年もすれば今のスマートホンと同じように誰でも何らかのAIやIoT(モノのインターネット)を利用することになるでしょう。

そこで今年の大会では、小児がん経験者(サバイバー)と家族のQOL向上のために、どのようにAI・IoTを役立てられるだろうか?を専門家を交えて考えたいと思います。皆様のご参加を、お待ちしております。

開催予定プログラム

### AYA世代の苦悩と未来への思い、僕の場合

小児脳腫瘍経験者・白血病経験者・白血病移植経験者の発表

### 晩期合併症とともに生きるわが子へ、親の願い

家族の発表

### 学校で進む合理的配慮とICTの活用

丹羽 登氏(関西学院大学 教育学部 教授)

### 「一人暮らし」や「移動の自立」を支援するAI・IoT ~イヤホン型ウェアラブル・コンピュータとは~

谷口 和弘氏(広島市立大学大学院 情報科学研究科 講師)

### AIが拓く数年後の世界 ~サバイバーの生活を支え抜げる、あんなこと、こんなこと~

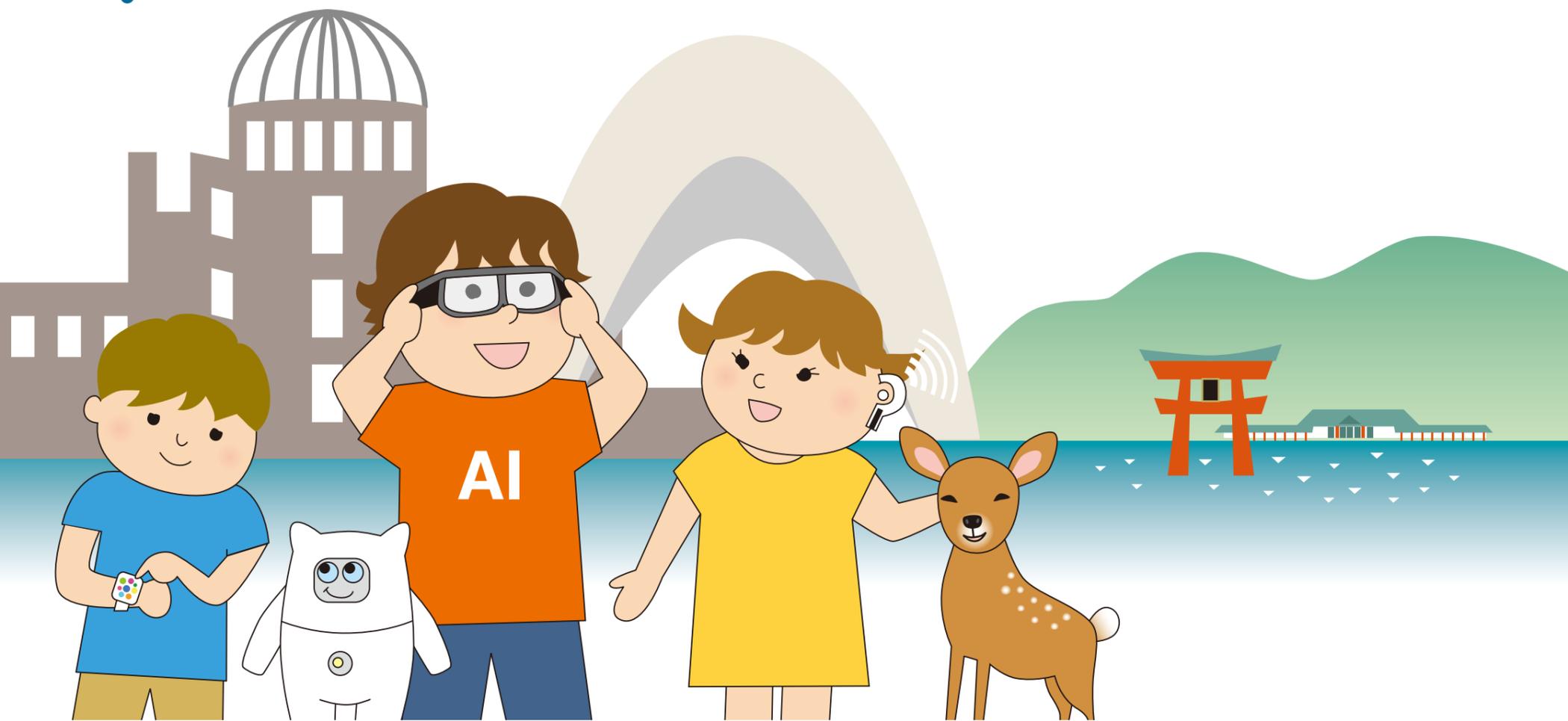
日浦 慎作氏(広島市立大学大学院 情報科学研究科 教授)

### パネルディスカッション AIはサバイバーの活躍を支援できるか?

晩期合併症を有する小児・AYA世代のがん経験者の「自立と活躍」に、AIがどのように役立てられるかを展望し、当事者家族を交えて意見交換します。

進行役 安道 照子(エスビューロー代表理事)、長澤 正敏(エスビューロー事務局長/中小企業診断士)

パネリスト 原 純一氏(大阪市立総合医療センター 副院長 兼 小児医療センター長)、一戸 辰夫氏(広島大学原爆放射線医科学研究所 血液・腫瘍内科研究分野 教授)、丹羽 登氏(関西学院大学 教育学部 教授)、谷口 和弘氏(広島市立大学大学院 情報科学研究科 講師)、日浦 慎作氏(広島市立大学大学院 情報科学研究科 教授)



大会運営事務局(お問い合わせ先)

特定非営利活動法人 エスビューロー

エスビューロー

検索

ポスター、パンフレット(作成中)送付希望の方は下記へ電話、もしくはメールにてお知らせください。

ホームページ: [www.es-bureau.org](http://www.es-bureau.org) TEL&FAX: 072-622-6730 E-mail: [esbureau@hcn.zaq.ne.jp](mailto:esbureau@hcn.zaq.ne.jp) 〒567-0046 大阪府茨木市南春日丘7丁目5番8号(大阪大学医学部附属病院前)

主催: NPO 法人

エスビューロー

共催(今年度WAM事業連携団体): 地方独立行政法人大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター、広島大学原爆放射線医科学研究所 血液・腫瘍内科研究分野、東京慈恵会医科大学 脳神経外科学研究室、NPO 法人 エスユース(小児がん当事者団体)